



ぽかぽか通信



こみみにはさんだよ

今回は、広場利用者の小林さんから。
時を越えて届いた、素敵なお便りです。



回田町にある小平市立第三小学校は今年創立130周年です。

私が在学していたのは、ちょうど100周年の時、その記念事業の一環として在
学生はタイムカプセルを埋め、風船を飛ばしました。

そして30年後の今年、そのタイムカプセルを掘り起こす時が来たのです。

昨年から実行委員としてイベント企画・準備を手伝いましたが、30年も経つと
連絡が付かない卒業生も多数いまして、果たしてどれだけ集まるものなのか……。

5月2日青空の下、予想を遥かに超える人が校庭に集まりました。ステンレス製
のタイムカプセルは掘り起こされ開けてみると、生徒たちの作文や絵、学校で使っ
ていた体操着、なわとび、絵の具セット、給食食器 etc...色あせることもなく、そ
のままの姿を現し、みんな大感激！！午後に行われた当時の全学年対象同窓会でも
話が盛り上がったのは言うまでもありません。

また、関連した記事が3/26、5/3には読売新聞多摩版、5/4には朝日新聞天
声人語に掲載され、卒業生や地域の方々にもまで大反響を呼びました。

ちなみに私は、30年前に飛ばした風船を拾ってくれた茨城の霞ヶ浦の近くに住
むおばさんと未だに連絡を取っています。結婚式で初めてお会いし、一昨年に一緒
に伊豆旅行をしました。今はこんな出会っていないですよね……。

小林さん、どうもありがとうございました！

やっぱりムシが好き

一般ウケ度ナンバーワン！
見かけによらず肉食男子＆
女子なテントウムシ！…の巻

虫は苦手！という人にも「これは大丈夫」と言ってもらえる
虫というのがいる。その堂々たるナンバーワンに輝くのは(勝手な感覚だが)テントウムシではないだろうか。
まるい、ちいさい、水玉模様、ツツツヤ…どこを取っても乙女ゴコロをくすぐる要素ばかり。テントウムシをモチー
フにしたグッズもたくさんある。(チョウはグッズは多いが、実物は鱗粉・イモムシなどが気持ち悪いと敬遠されが
ちである。)しかも、ガーデニングのにつき敵、アブラムシをむしゃむしゃ食べてくれる正義の味方ときた！(アブラ
ムシはアブラムシで奥が深いという話はまた後日…)というわけで、テントウムシ人気はうなぎ昇りなのである。
ちなみに、今の時期は卵・幼虫・蛹・成虫どの姿にも出会えるお得なシーズン。そこで、今日はそんなテントウ
ムシたちの生き様に迫ってみました。(ふじたりえこ)

①



これは宝石？フルーツ？
きれいに並ぶ黄色い卵は
職人芸！の一言に尽きる

②



ほくら、生まれたての
テントウムシ何兄弟?!
いざ行け、厳しい自然界

③



信じられないって言わ
れるけど…、ほく、本当
にテントウムシです…

④



大空を夢見て…！！
体をまるくちぢこめて
さなぎの準備に入ります

(左下へ)

⑤



沈黙の季節…。一体こ
の中でどんな大変身が
行われているのか…

⑥



背中がバカッと割れて
おとなになりました。
でも、初めは黄色いの

⑦



時間がたつと、黄色かった羽
が黒くなり、模様部分がオ
レンジに浮き出てくるよ

⑧



もうすっかり羽も乾いて、
模様も赤くなって一人前！
むしゃむしゃお食事中です